

令和 4 年度かながわの地域日本語教育の取組
(資料編)

神奈川県国際文化観光局国際課

目 次

| | ページ |
|---|-----|
| 令和4年度かながわの地域日本語教育スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 地域日本語教育コーディネーターについて・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| 日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査（市町村支援）・・・・・・・・ | 3 |
| 地域日本語教育の総合的な体制づくり市町村推進事業費補助金・・・・・・・・ | 4 |
| 専門家による初心者向け日本語講座（県モデル事業）・・・・・・・・ | 7 |
| ボランティアによる日本語教室等の運営改善等に係る支援（市町村支援） | 8 |
| 日本語ボランティアの養成・研修（市町村支援）・・・・・・・・ | 9 |
| 日本語学習支援に関する研修（チラシ：日本語学習支援実践者研修） | 11 |
| 日本語学習支援に係る相談対応実績・・・・・・・・ | 13 |
| 「かながわでにほんご」月別アクセスデータ・・・・・・・・ | 18 |
| かながわ地域日本語教育フォーラム（チラシ）・・・・・・・・ | 19 |

令和4年度かながわの地域日本語教育（スケジュール）

※スケジュールは現時点での予定であり、今後の状況で変更となる場合があります。

スライド6～14関連

| | | 第1四半期 | | | 第2四半期 | | | 第3四半期 | | | 第4四半期 | | |
|--|--|-------------------------------------|----|----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|----------------|----------------------|----------------|----------|--------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 市町村等との連携 | コーディネーターの配置 | 総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーターによる支援（通年） | | | | | | | | | | | |
| | 総合調整会議 | | | | | 専門委員会 ① | | | | | | 専門委員会② | 総合調整会議 |
| | 市町村等連絡調整会議 | | | 会議開催① | | | | | 会議開催② （+研修） | | | | 会議開催③ |
| 日本語講座 | 日本語初心者向け日本語講座<横須賀> [横須賀市] | | | | レベル1 講座実施（20回） | | | | | レベル2 講座実施（20回） | | | |
| | 日本語初心者向け日本語講座<県央> [海老名市、座間市、綾瀬市] | | | | | レベル1 講座実施（20回） | | | | | レベル2 講座実施（20回） | | |
| | 日本語初心者向け日本語講座<オンライン> | | | | | | | | | オンライン講座実施 | | | |
| 地域日本語教育フォーラム | | | | | | | フォーラム 開催① | | | | | フォーラム開催② | |
| 日本語学習支援に関する研修 | | | | | | | 湘南地域 （2回） | | | 横須賀・ 三浦地域 （2回） | | | |
| 市町村支援事業 | 日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査 [座間市] | | | 座間市（6月以降、随時実施） | | | | | | | | | |
| | 日本語学習支援者（ボランティア）の養成・研修 [海老名市、座間市、綾瀬市] | | | | | | | 海老名市・座間市共同実施 | | | | | |
| | ボランティアによる日本語教室等の 運営改善等に係る支援 [平塚市、藤沢市] | | | | | | | 平塚市 運営改善 | | | | | |
| 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業費補助（市町村補助金） [川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、大 和市、伊勢原市、綾瀬市、葉山町、真鶴町、湯河原町] | | 各市町村で補助事業を実施 | | | | | | | | | | | |
| 情報提供、相談対応 | | 随時実施 | | | | | | | | | | | |

地域日本語教育コーディネーターについて

現在、各地域の実情に応じ、プログラムの企画・調整等を行う「地域日本語教育コーディネーター」を4名配置している。

【地域日本語教育コーディネーターの配置】

| | |
|------------------|-------|
| 政令市、県西地域・・・1名 | } 計4名 |
| 横須賀三浦地域・・・1名 | |
| 県央地域・・・・・・・・・・1名 | |
| 湘南地域・・・・・・・・・・1名 | |

【主な取組】

令和4年度は、これまでの取組みを継続しつつ、多様な主体との連携を図る活動も進める。

| 項目 | 主な取組 |
|---|--|
| 地域のニーズや実情に応じたプログラムの企画・調整等 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じて市町村補助金を活用した事業（ボランティア研修、ICTを活用した講座等）の市町村への働きかけ。 コロナ禍において活動が停滞している日本語教室に向けてオンライン教室の開催を支援。 |
| 県施策に対する市町村・ <u>企業等</u> からのニーズの把握 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村支援事業（ニーズ調査、日本語教室運営改善、ボランティア養成・研修等）に関する市町村のニーズの把握、働きかけ。 地域の実情に応じたプログラムの企画につなげるため、日本語教室連絡会への出席や、日本語教室の見学・ヒアリング等を通じて、地域のニーズを把握。 県域単位での取組を進めるため、中核となる市に現状についてヒアリングを行い、地域のニーズを把握、県モデル事業（専門家による初心者向け日本語講座）等の働きかけ。 <u>外国籍県民等への支援の幅が広がることを期待し、多様な主体と連携した事業構築について検討を進めていくため、企業等のニーズを把握。</u> |
| 関係機関等のネットワークづくり | <ul style="list-style-type: none"> 県・市・教室間の連携を図るため、日本語教室に向けた日本語講座説明会を開催。 |
| ボランティアによる日本語教室とボランティア希望者とのマッチング | <ul style="list-style-type: none"> 問合せを受けたボランティア希望者に日本語教室を紹介。 |
| 市町村に対する神奈川県内大学生等、地域日本語教育に関わる新たな人材確保への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 日本語教育に関わる新たな人材確保につなげるため、大学生等の日本語ボランティア活動や地域における日本語教育の参画への支援。（予定） |

日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査（市町村支援）

【事業概要】

日本語教育事業の必要性や地域の実情に応じた事業の検討に向け、外国籍県民等の日本語学習ニーズや生活上必要としている情報、外国籍県民等を支援する人が必要とする支援内容等について調査を行う。

【実施自治体】

1 件（座間市）

【想定される調査対象と質問項目】

| 調査対象 | 質問項目 |
|----------------------------------|--|
| 外国人住民 （飲食店従業員、宗教施設 等） | 1) 属性 2) 日本人との付き合いの程度 3) 日常で日本語を使う機会の有無 4) 日本語学習の状況 5) 日本語能力の面で直面した困難。その際の対処方法 6) 生活情報の入手方法及び相談先 等 |
| 日本語教室 （スタッフ） | 1) 教室について（学習者及び支援者の特徴、支援者数の増減傾向、形式） 2) 教室運営で困っていること 3) 日本語教育等に関する情報の入手方法 4) 市町村に期待すること 等 |
| 外国人支援団体等 | 1) 団体について（活動内容、支援者及び支援先の特徴等） 2) 団体運営で困っていること 3) 市町村に期待すること 等 |
| 自治会等の地域住民 | 1) 外国人住民とのかかわりの状況 2) 外国人住民とのコミュニケーション上の課題 等 |
| 企業 | 1) 外国人就業者の雇用状況 2) 外国人従業者への日本語支援の有無 3) 外国人就業者が直面する困難（就業者側/雇用者側） 4) 外国人就業者とのコミュニケーション上の課題 等 |
| 教育施設等 | 1) 外国につながる子どもの通園の有無 2) 外国につながる子どもやその家族とのコミュニケーション上の課題 等 |
| 行政（窓口担当課等） | 1) 外国人住民への対応の有無。どのような件で対応することが多いか 2) 対応時の課題及び対応方法 3) やさしい日本語の認識の程度 4) 外部団体等との連携の有無 等 |
| 外国人が日常的に使う と考えられる施設 （飲食店等） | 1) 顧客の特徴（在日期間が長い人が多い等） 2) 施設と顧客間の情報交換の有無。顧客の求める情報 3) 店と日本人住民との接点の有無 |

※ 10 団体（20 名）程度ヒアリングを実施する。

【その他】

調査結果は以下の項目等へ活用することを想定している。

- ・ 外国人住民への広報手段の検討
- ・ 既存の日本語教室への支援内容の検討
- ・ 日本語教室の新規開設の検討
- ・ 県のモデル事業の活用

地域日本語教育の総合的な体制づくり市町村推進事業費補助金

令和4年度の標記補助金の活用例は以下のとおり。

| |
|--|
| A 日本語教育人材に対する研修 |
| <p>(活用例1) 日本語学習支援者育成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 識字学習活動や日本語教室に通う市民を対象に、日本語学習支援者を育成するための講座を開催する。 <p>(活用例2) 日本語ボランティア養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインによる実践的な日本語教授法について学習する機会を提供するための講座を開催する。 <p>(活用例3) 日本語ボランティアブラッシュアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語ボランティアの資質向上を図るため、日本語指導法の技術を向上させるための講座を実施する。 |
| B 地域日本語教育の実施 |
| <p>(活用例4) 日本語会話サロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流協会に委託し、ボランティアが市内に在住・在勤・在学する外国人に対して日本語指導を行う。 <p>(活用例5) 暮らしの日本語教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体に委託し、日本語学習の場及び日常生活に関する相談の場を提供するとともに、教室外で実践的な日本語を学ぶ文化交流事業等を実施する。 <p>(活用例6) 日本語学習支援員による日本語学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語学習支援員を配置し、学習者と登録ボランティアのマッチングを行い、継続的に日本語を学べる環境を整備する。 <p>(活用例7) 日本語教室開催経費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内で活動するボランティア教室に対し、活動に必要な経費の一部を助成する。 (講師交通費、消耗品費、印刷費等) <p>(活用例8) 日本人向けやさしい日本語講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人とのコミュニケーションを取りやすい環境を醸成するため、日本人を対象とした「やさしい日本語」講座を実施する。 <p>(活用例9) 外国人向けの日本語教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語を学びたい、日本語を使って地域の人と交流したい在住外国人のために、地域のボランティアが講師となり、無償で日本語を教える日本語教室を開催する。 |
| C その他 |
| <p>(活用例10) 日本語教室学習教材の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援内容の平準化及び向上等を目的として、市内日本語ボランティア教室に対して学習教材を提供する。 |

| 補助対象経費 | 補助率 |
|---|-----|
| <p>① 総合調整会議の設置 総合的な体制づくりを行うために必要な知見を持つ有識者から構成される会議体を設置し、地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育推進施策の協議等を実施する事業に要する経費</p> <p>② コーディネーターの配置及び配置に向けた取組 地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、地域内の日本語教室への指導・助言等や、地域の関係者と情報交換しつつ、調査・推進計画策定を円滑に行うコーディネーターを配置する事業に要する経費。 その他、コーディネーター候補者の育成を行う事業に要する経費</p> <p>③ 地域における日本語教育の実施に関する連携のための取組 地域において、日本語教育の関係機関が連携、情報交換を目的としたネットワーク会議等を開催する事業に要する経費</p> <p>④ 日本語教育人材に対する研修 地域の日本語教育を担う人材（地域日本語教育コーディネーター、日本語学習支援者等）に対する養成・研修を実施する事業に要する経費</p> <p>⑤ 地域日本語教育の実施 地域や外国籍県民等の当事者のニーズに応じた日本語教育を実施する事業に要する経費（⑥で在り方を検討した場合は、⑥の内容を反映させること）</p> <p>⑥ 地域における日本語教育の在り方の検討 地域に合った日本語教育の方法（巡回方式、通信教育方式、リモート配信等）についての実践研究を実施する事業に要する経費</p> <p>⑦ 地域日本語教育の効果を高めるための取組 日本語教育環境を整え、効果を高める取組（オリエンテーション、効果を測定するためのテスト、アンケート、スピーチ大会等）を実施する事業に要する経費</p> <p>⑧ 地域日本語教育に付随して行われる取組 日本語教育の促進のため、地域の人との交流を通じ、日本の習慣や生活を理解するための取組（地域行事及び催しへの参加、地域の人を講師とする文化講座等）を実施する事業に要する経費</p> <p>⑨ 日本語教育に関する広報活動 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の円滑な実施を目的とし、その重要性を周知する取組（住民向けセミナー、ホームページやSNSを活用した広報等）を実施する事業に要する経費</p> <p>⑩ ICTを活用した教育・支援 多言語翻訳アプリや高度情報通信技術等のICTを活用し、日本語学習を希望する「生活者としての外国人」や日本語教師等への効果的な教育・支援を実施する事業に要する経費</p> | 1/2 |

| 補助対象経費 | 補助率 |
|--|------------|
| <p>⑪ 教材作成 「日本語教育の参照枠」や「生活者としての外国人」に対する日本語教育を実施するためのカリキュラムなど、教材作成を実施する事業に要する経費</p> <p>⑫ 成果の普及 「地域の指導體制のモデル図や報告書の作成」「シンポジウムの開催」等により、地域や全国に向けて、成果を発信・普及する事業に要する経費</p> <p>⑬ 「日本語教育の推進に関する法律」第11条に基づく基本的な方針の作成 基本的な方針を作成するために知見を持つ有識者から構成される委員会の設置、必要な調査審議等に要する経費</p> <p>⑭ その他 ①～⑬以外の事業で、知事が認めた事業に要する経費</p> | <p>1/2</p> |

専門家による初心者向け日本語講座（県モデル事業）

【事業概要】

日本語初心者の外国籍県民等を対象として、体系的な初期段階の日本語指導を行うとともに、生活オリエンテーション等を組み込んだ日本語講座を実施する。将来的に、市町村が自ら講座を実施可能となるようなモデル事業として実施するもの。

開催地域の近隣市と連携しながら、対面形式を含めた講座を複数箇所（県央教室、横須賀教室）で実施するほか、居住地や家庭環境（子育て中など）等の理由で対面講座への参加が難しい場合があるため、ICT等を活用した環境づくりの一環として、オンラインによる講座も実施する。

対面形式を含めた講座については、新たな市町村との連携や日本語教室のない空白地域の解消に向けた展開も必要であることから、モデル講座の実施地域を見直し、令和4年度より横須賀教室を開講。

【県央教室（対面形式）の講座事例】

<実施形態>

主催：神奈川県、共催：海老名市、座間市、綾瀬市

<実施時期・回数>

令和4年8月5日～令和4年10月19日 レベル1 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

令和4年11月16日～令和5年2月3日 レベル2 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

※ レベル1 はじめて日本語を勉強する外国籍県民等

レベル2 ひらがな・カタカナを読むことができる外国籍県民等

<定員>

レベル1・レベル2とも各20人程度

<内容>

- ・ 令和2年度に策定したカリキュラムを地域の実情に応じて改編し、初心者向けの短期集中型の日本語講座を複数の市町村の協力を得てモデル的に実施する。地域のボランティアによる日本語教室への橋渡しやボランティアのモデル事業への協力も想定している。
- ・ オンラインの活用も検討しながら、体系的な初期段階の日本語指導、生活オリエンテーション等を組み込んだ講座とする。
- ・ 専門家（日本語教師）1人、サポーター1～2人の実施体制で行う。

<教材>

「新装版 いっぽ にほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級1・2」（発行：スリーエーネットワーク）

<市の役割分担>

- 広報（市広報誌、多言語情報誌を通じた募集等）
- 生活オリエンテーションへの協力、
地域の実情に応じた情報提供となるような内容の企画・調整、市職員の参加等
- 市内のボランティアによる日本語教室との連携
 - ・ ボランティアによる日本語教室に通う外国籍県民等に本講座を紹介
 - ・ 地域の日本語教室の紹介や相談等の場の設定を本講座で実施 等

【オンライン形式の講座事例】

<実施形態>

主催：神奈川県

<実施回数>

令和4年12月～令和4年2月（予定） レベル2 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

<定員>

レベル2 20人程度

<内容>

- ・ 基本的に対面講座と同じレベルをオンラインで実施

<教材>

「いろいろ 生活の日本語 入門・初級」（制作：国際交流基金）

ボランティアによる日本語教室等の運営改善等に係る支援（市町村支援）

【事業概要】

地域のボランティアによる日本語教室がこれまでの課題や問題点等を解決し、継続的かつ発展的な運営が可能となるよう、専門家の助言や指導による支援を実施する。

【課題への対応】

本事業は、日本語教室やボランティアが抱える運営面での課題がそれぞれ異なり、オーダーメイド型で対応する必要があることから、モデル事業として他のケースに応用できない場合が多いという課題に対応するため、令和4年度は、複数教室に応用できるようなテーマを設定して取り組んでいる。

【実施自治体】

2件（平塚市・藤沢市）

【取組内容】

<テーマ>

オンライン日本語教室の実践に向けた取組

<参加者>

各市内日本語教室のボランティア（定員：各市20名）

<講師>

東京にほんごネット 代表 有田 玲子氏

日本語学校非常勤講師

ひらがなネット株式会社 日本語教育アドバイザー／やさしい日本語アドバイザー

文化庁日本語学習サイト『つながるひろがる にほんごでのくらし』作成メンバー

<内容>

- ・ 新型コロナウイルス感染症や日本語教室が遠方で対面の日本語教室にアクセスできない状況にある学習者のために、教室の所在地等にとらわれず受講できるオンライン教室運営のノウハウを習得することで、日本語教室の運営を多様化する。
- ・ Zoomを使い、主催者（ホスト）になり、オンライン教室を開くまでの操作手順や教室運営ノウハウ（テキストの選び方、有効的な使い方、受講者との有効なコミュニケーション方法）を習得する。

<各回の概要（予定）> 全4回、各回2時間、対面実施

| | 日 程 | | 内 容 |
|-----|----------|---------|-----------------------|
| | 平塚市 | 藤沢市 | |
| 第1回 | 10/2(日) | 7/19(火) | はじめてみよう！オンライン講座（参加者編） |
| 第2回 | 10/9(日) | 7/25(月) | はじめてみよう！オンライン講座（主催者編） |
| 第3回 | 10/23(日) | 7/26(火) | オンライン日本語教室を運営してみよう① |
| 第4回 | 10/30(日) | 8/3(水) | オンライン日本語教室を運営してみよう② |

※ 新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて変更する可能性あり

日本語ボランティアの養成・研修（市町村支援）

【事業概要】

市町村が自立して講座の継続実施ができるよう、市町村・市町村国際交流協会が実施する日本語ボランティア養成及び実践者研修等に対し、プログラム提供・講師派遣等の支援を行う。

【実施自治体】

2件（海老名市・座間市（共催）、綾瀬市）

【各自治体の取組内容（予定）】

| 自治体 | 講座回数（開催日） | 定員 | 主な対象 | 形式 | 講師 | 講座内容 |
|-------------------|--|-----|--------------------------------|----|---|---|
| 海老名 座間 （共催） | 全4回 （10/1（土）、10/8（土）、 10/15（土）、11/26（土）） 各回 16時～18時 | 20名 | ボランティアとして既に活動している方、新たに活動を希望する方 | 対面 | 林川 玲子氏ほか （日本語学習支援出前講座の会 ※（旧）東京日本語ボランティア・ネットワーク） | ①10/1（土）：日本語学習支援全般について ②10/8（土）：会話を重視した活動方法・身近なものを使って何ができるだろう？ ③10/15（土）：会話を重視した活動方法・文型積み上げでない活動例、オンラインとの併用活動等 ④11/26（土）：総まとめ・振り返り |
| 綾瀬 | 全3回 （10/19（水）、10/26（水）、 11/28（月）） 各回 15時～17時 | 20名 | ボランティアとして既に活動している方 | 対面 | 嶽肩 志江氏 （横浜国立大学非常勤講師） | （調整中）「対話」能力の向上、外国人住民の来日背景の理解、市役所による多言語サービスなどが内容の候補。 |

※ 具体的な内容については、各地域の状況に応じて決定。

※ 新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて変更する可能性あり。

白 紙

神奈川県内の日本語学習支援の活動をしている方対象

参加無料

日本語学習支援実践者研修 @湘南地域

日本語教室は、外国人住民との相互理解の場や居場所、地域社会との接点として、とても重要となっています。

日本語教室が継続、発展していけるよう、教室間・地域間のネットワークづくりを目指し、研修を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。



第1回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が、地域に関わる多様な主体とのネットワークを活用し、多文化共生の拠点としてよりよい形で継続・発展することを目指します。

9月7日(水)
14:00~16:00

申込締切：8月26日(金)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者：高橋 翔氏（平塚市市民部文化・交流課 交流親善担当）
- 2) 事例紹介「ともに学び、ともに楽しむ 日本語教室活動の報告」
中 和子氏（ユッカの会代表）
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある” シミュレーションゲーム
ANADO（アナドゥ）を体験してみよう～
講師：神吉 宇一氏（武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科教員）

第2回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考えることで、参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

9月25日(日)
14:00~16:00

申込締切：9月9日(金)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める”対話中心の活動”の実践について」
講師：吉田 聖子氏（文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー）
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について参加者同士で話し合います。
- 3) 神奈川県の日本語事業の取組概要の紹介及び情報提供

● 場所：平塚市崇善公民館（ひらつか市民活動センター 1階）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

● 定員：20名 ※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

● 申込方法：申込フォームよりお申込みください。-----> https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongo_jissen/



講師・事例発表者

第1回

高橋 翔氏

平塚市市民部文化・交流課 交流親善担当／一般財団法人自治体国際化協会認定 多文化共生マネージャー

平塚市では、令和4(2022)年度、神奈川県が実施する市町村支援事業を活用し、市内の日本語教室のボランティア向けにオンラインによる日本語教室運営に関する研修を実施。地域の日本語教育に関する現状や課題の把握に取り組んでいる。

第1回

中 和子氏

ユッカの会 代表

願い:だれもが安心して その人らしく暮らせるように。
1980年代～外国人の生活サポート(ユッカの会:日本語学習や教科学習)に注力する。1998年、多文化読み聞かせを視野に入れ「かながわこどもひろば」の開設に関わる。2001年の創刊から2021年廃刊まで(公財)横浜市国際交流協会(YOKE)の多言語情報誌「横・よこ」やさしい日本語編集に関わる。2010年、あーすぶらざ2階にカフェ(thirdplace)を開設、運営に関わる。2021年「多文化高齢者ネットかながわ」(県社協との協働事業)を組織し活動を始める。

第1回

神吉 宇一氏

武蔵野大学グローバル学部
日本語コミュニケーション学科教員

社会人になって最初の仕事は小学校教員、その後、正規・非正規 30以上の職を経験し、2016年より現職。専門は日本語教育、言語政策。文化庁地域日本語教育アドバイザーも務める。主な著書・論文に「公的日本語教育を担う日本語教師に求められるもの(『日本語教育』181号)」など。

第2回

吉田 聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、地域日本語教育の人材育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

ANADOとは

日本語学習支援の現場で起こりうる困難や葛藤等について、参加者同士が意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲーム

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

JR平塚駅西口より徒歩7分



お知らせ

本研修と同様の研修を
横須賀・三浦地域で実施します。

(第1回)

11月5日(土)

(第2回)

11月14日(月)

※一部講師変更あり

※「湘南地域」と「横須賀・三浦地域」の両方に申込みをすることも可能です。

検索

かながわでにほんご

日本語学習支援に係る相談対応実績

1 相談内容の分類の見直し

令和3年度までの相談対応実績の取りまとめにおいて、支援者からの相談内容の半数以上が「その他」に属する結果となっていたため、令和4年度から分類の見直しを行うこととした。

また、過去に遡り、令和2年度及び令和3年度の相談対応実績についても新たな分類での仕分けを行った。

【見直しを行った分類】

※下線部分が見直しを行った箇所

<支援者等からの相談内容の分類>

| 令和2年度・3年度 | | 令和4年度 |
|--|---|--------------------------------------|
| (分類項目なし) | ⇒ | ・ <u>教室(学校)情報</u> |
| ・ <u>ボランティア希望</u> ・ <u>ボランティア募集</u> | ⇒ | ・ <u>日本語学習支援に関する相談(ボランティアの希望・募集)</u> |
| ・ <u>指導方法</u> ・ <u>教材情報</u> ・ <u>日本語教師関連資格</u> | ⇒ | ・ <u>日本語学習支援に関する相談(教材・日本語指導等)</u> |
| ・ <u>教室広報</u> ・ <u>教室運営</u> | ⇒ | ・ <u>日本語学習支援に関する相談(教室の運営・広報)</u> |
| ・ <u>ボランティア研修</u> | ⇒ | ・ <u>研修等に関する相談(企画相談、講師紹介等)</u> |
| (分類項目なし) | ⇒ | ・ <u>やさしい日本語に関する相談</u> |
| ・市町村(日本語事業)に関する相談 | ⇒ | ・市町村(日本語事業)に関する相談 |
| (分類項目なし) | ⇒ | ・ <u>県(財団)事業への問合せ</u> |
| ・その他 | ⇒ | ・その他 |

<相談者属性の分類>

| 令和2年度・3年度 | | 令和4年度 |
|-----------------------------|---|--------------------|
| ・外国人当事者 | ⇒ | ・外国人当事者 |
| ・家族・友人 | ⇒ | ・家族・友人 |
| ・日本語教室 | ⇒ | ・日本語教室 |
| ・ <u>NPO・NGO</u> | ⇒ | ・ <u>NPO・NGO等</u> |
| ・国際交流協会・ラウンジ | ⇒ | ・国際交流協会・ラウンジ |
| ・市町村 | ⇒ | ・市町村 |
| ・ <u>県機関</u> ・ <u>学校</u> | ⇒ | ・ <u>公的機関(学校等)</u> |
| (分類項目なし) | ⇒ | ・ <u>企業</u> |
| ・その他 | ⇒ | ・その他 |

2 日本語学習支援に係る相談対応実績

※ R2は7月から開始
 ※ R4は4月から6月までの実績

【相談内容別 相談件数】 (単位:件)

| 分類 | | R2 | R3 | R4 | 合計 |
|--|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 外国人当事者及び家族等 | | | | | |
| | 教室・学校情報 | 40 | 151 | 31 | 222 |
| | 教材に関する相談 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | 学習方法に関する相談 | 0 | 6 | 0 | 6 |
| | その他 | 4 | 11 | 0 | 15 |
| | 小計 | 45 | 169 | 31 | 245 |
| 支援者等 | | | | | |
| | 教室（学校）情報 | 9 | 14 | 4 | 27 |
| | 日本語学習支援に関する相談 （ボランティアの希望・募集） | 3 | 8 | 4 | 15 |
| | 日本語学習支援に関する相談 （教材・日本語指導等） | 5 | 12 | 3 | 20 |
| | 日本語学習支援に関する相談 （教室運営・広報） | 1 | 18 | 3 | 22 |
| | 研修等に関する相談 | 4 | 14 | 2 | 20 |
| | やさしい日本語に関する相談 | 4 | 9 | 0 | 13 |
| | 市町村（日本語事業）に関する相談 | 5 | 10 | 1 | 16 |
| | 県（財団）事業への問合せ | 21 | 13 | 2 | 36 |
| | その他 | 3 | 17 | 4 | 24 |
| | 小計 | 55 | 115 | 23 | 193 |
| 合計 | | 100 | 284 | 54 | 438 |
| 【参考】月平均 (R2:8か月、R3:12か月、R4:3か月) | | 12.5 | 23.7 | 18.0 | - |

【属性別 相談件数】 (単位:件)

| 分類 | R2 | R3 | R4 | 合計 |
|-------------|------------|------------|-----------|------------|
| 外国人当事者 | 33 | 137 | 27 | 197 |
| 家族・友人 | 12 | 32 | 4 | 48 |
| 日本語教室 | 8 | 29 | 6 | 43 |
| NPO・NGO等 | 2 | 7 | 1 | 10 |
| 国際交流協会・ラウンジ | 14 | 9 | 0 | 23 |
| 市町村 | 8 | 26 | 4 | 38 |
| 公的機関（学校等） | 13 | 21 | 5 | 39 |
| 企業 | 3 | 8 | 1 | 12 |
| その他 | 7 | 15 | 6 | 28 |
| 合計 | 100 | 284 | 54 | 438 |

【参考】

日本語教育事業以外で神奈川県が設置している「多言語支援センターかながわ」(委託先: (公財)かながわ国際交流財団)における日本語教育に関する相談件数

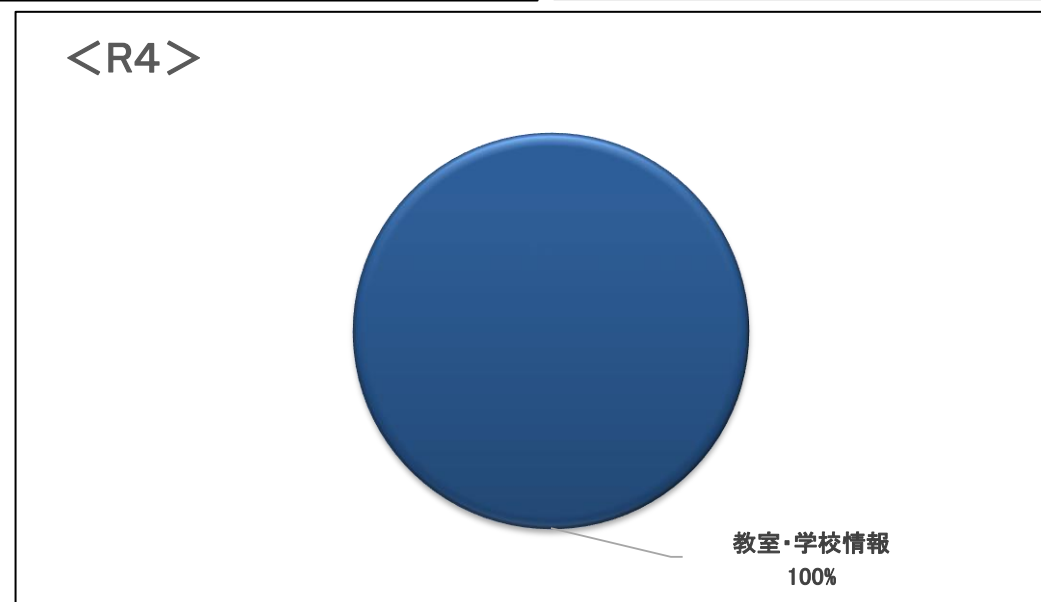
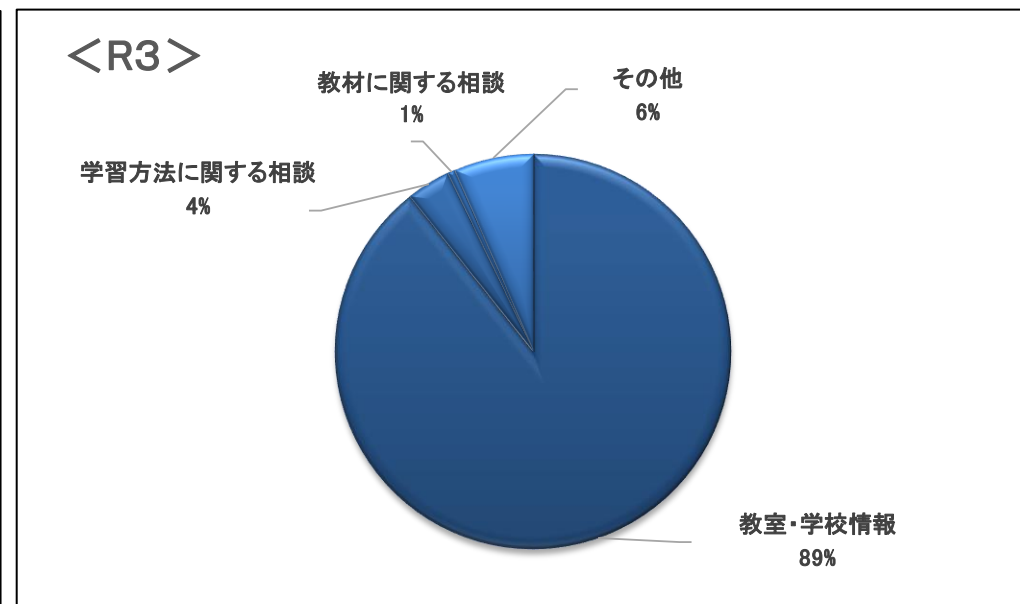
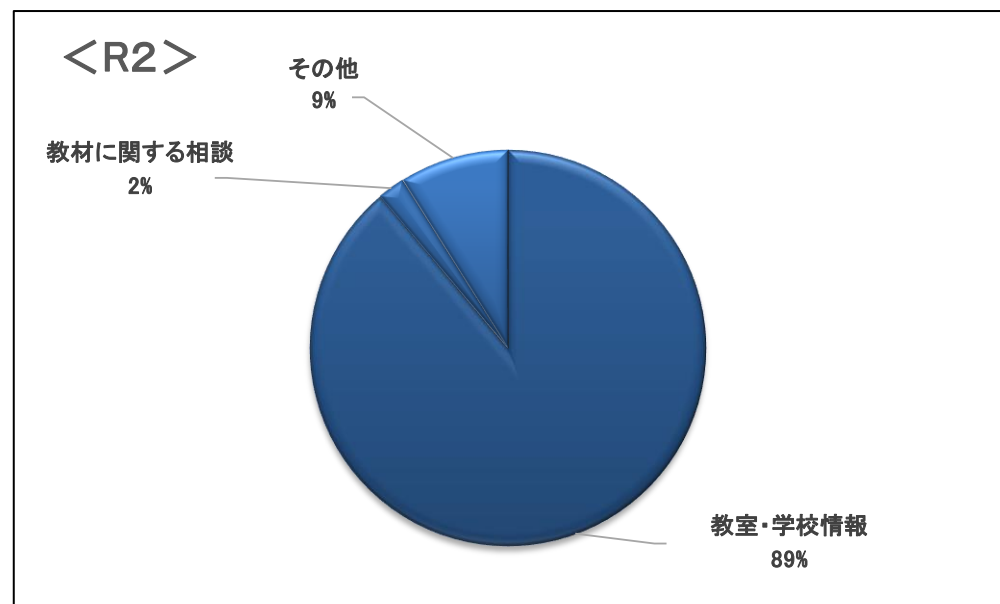
R4: 247件 (R4年4月1日～6月30日まで)

R3: 838件 (R3年4月1日～R4年3月31日まで)

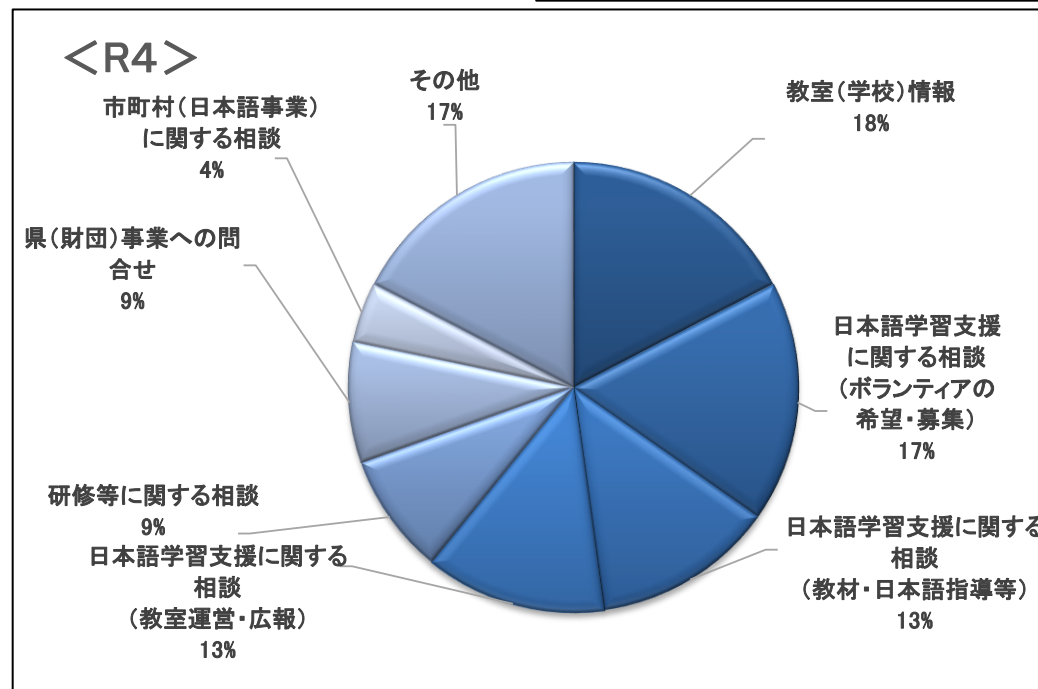
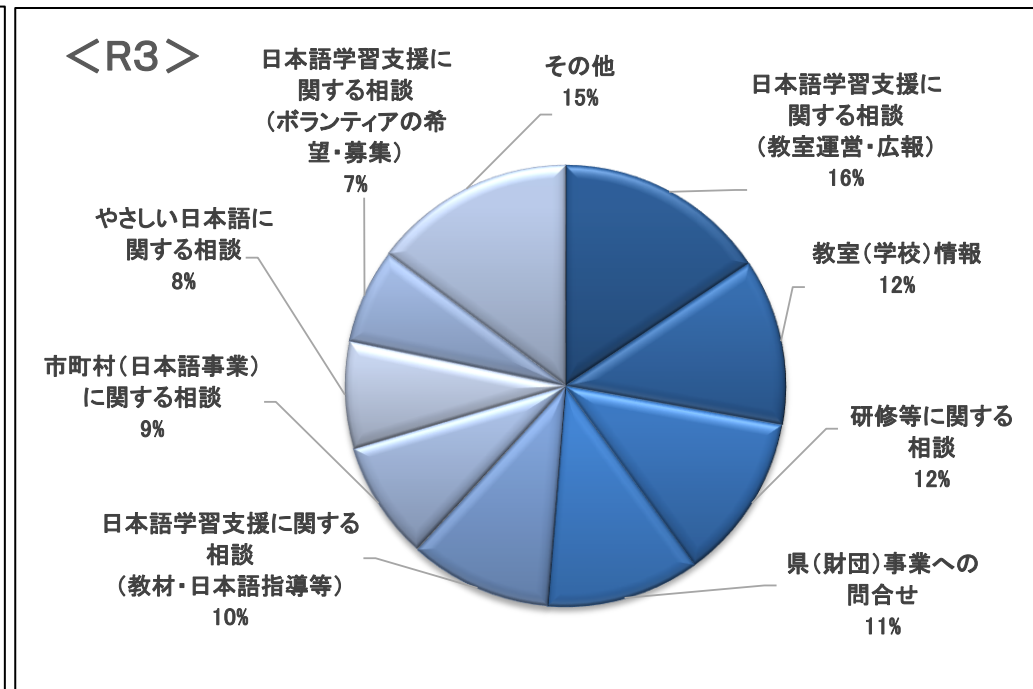
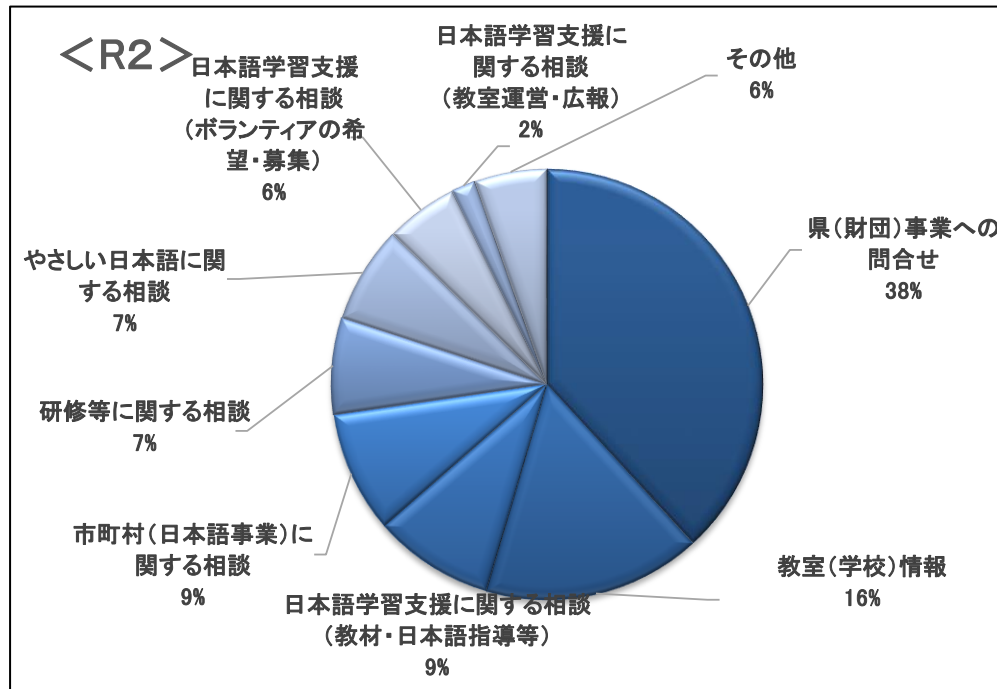
R2: 389件 (R2年4月1日～R3年3月31日まで)

3 日本語学習支援に係る相談対応実績(グラフ)

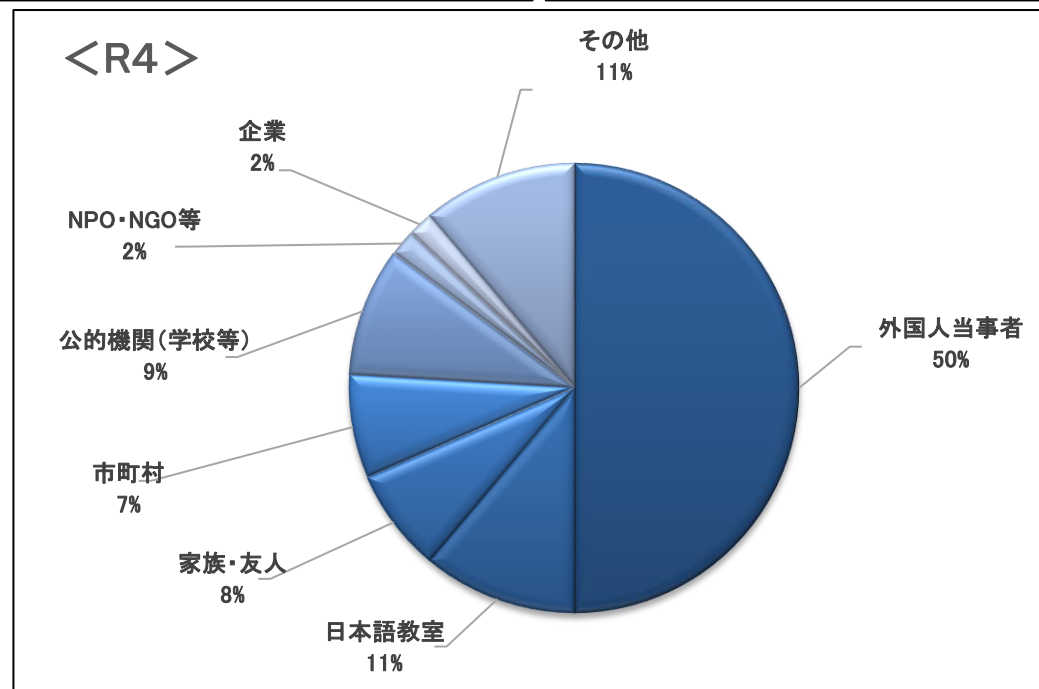
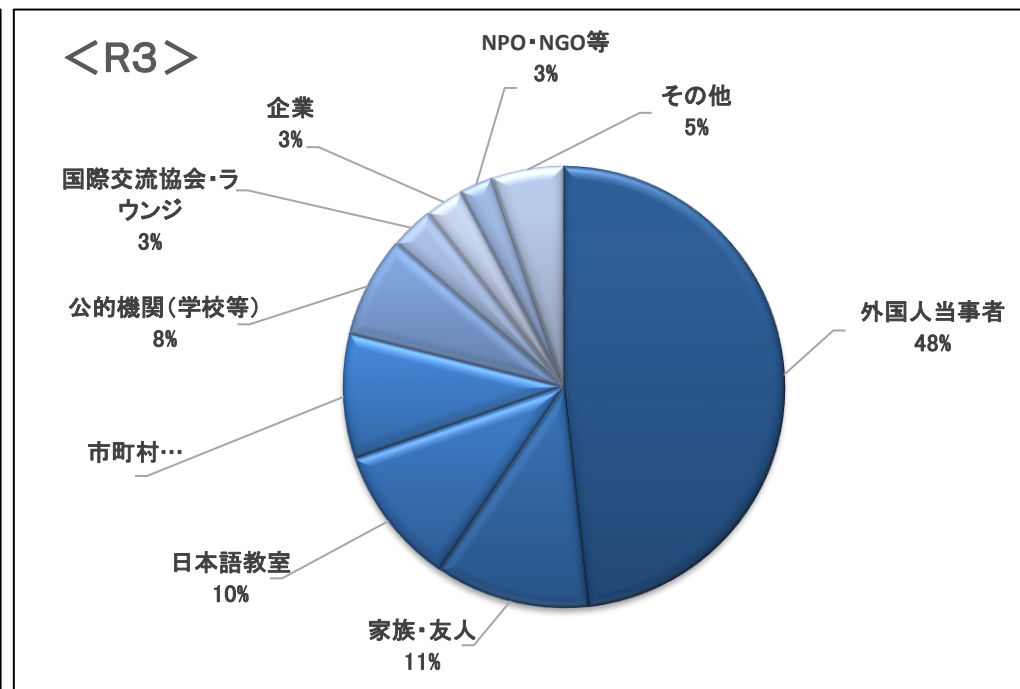
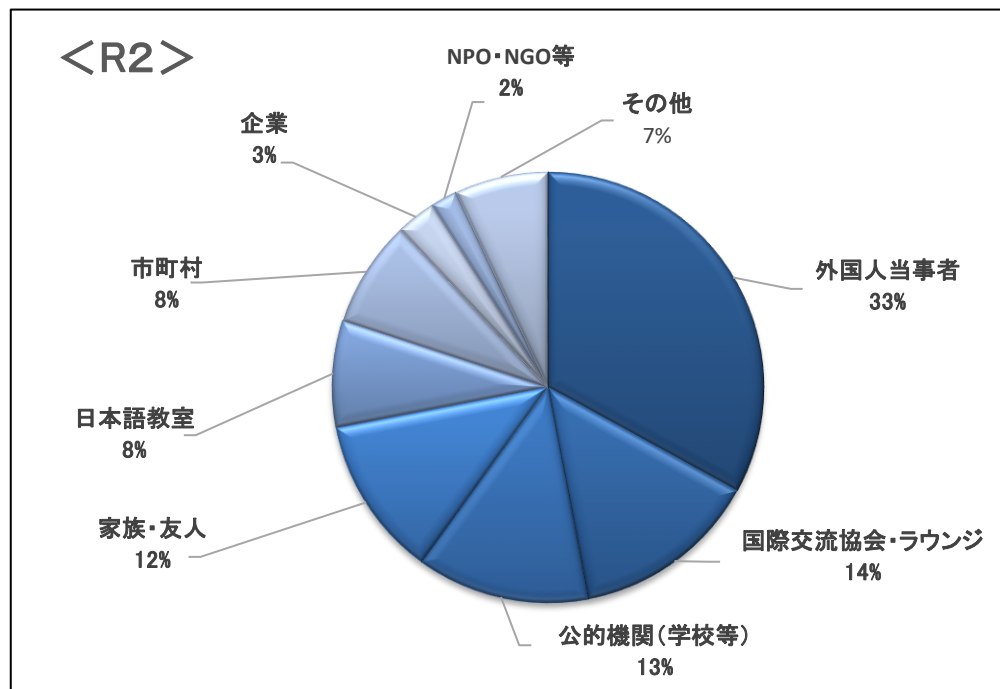
【「外国人当事者及び家族等」からの相談内容】



【「支援者等」からの相談内容】



【属性別】



「かながわでにほんご」月別アクセスデータ

| | PV数 | UU数 | 平均ページ滞在時間(秒) |
|----------|-------|-------|--------------|
| 2020年8月 | 1,218 | 676 | 89 |
| 2020年9月 | 1,216 | 219 | 81 |
| 2020年10月 | 4,492 | 1,268 | 100 |
| 2020年11月 | 1,461 | 351 | 118 |
| 2020年12月 | 2,306 | 626 | 98 |
| 2021年1月 | 1,399 | 357 | 92 |
| 2021年2月 | 1,167 | 313 | 66 |
| 2021年3月 | 1,286 | 290 | 66 |
| 2021年4月 | 1,787 | 433 | 80 |
| 2021年5月 | 3,385 | 723 | 84 |
| 2021年6月 | 3,784 | 1,101 | 77 |
| 2021年7月 | 5,932 | 2,137 | 93 |
| 2021年8月 | 6,204 | 2,568 | 108 |
| 2021年9月 | 7,295 | 2,844 | 97 |
| 2021年10月 | 5,077 | 1,926 | 90 |
| 2021年11月 | 4,405 | 1,790 | 86 |
| 2021年12月 | 4,487 | 1,944 | 106 |
| 2022年1月 | 4,450 | 1,923 | 109 |
| 2022年2月 | 4,071 | 1,556 | 100 |
| 2022年3月 | 3,951 | 1,564 | 93 |
| 2022年4月 | 4,290 | 1,673 | 105 |
| 2022年5月 | 4,655 | 1,956 | 93 |
| 2022年6月 | 6,481 | 2,431 | 89 |

※PV数＝ページビュー数（サイト内のページが表示された回数）

UU数＝ユニークユーザー数（特定の期間内にサイトを訪れたユーザーの数）

オンライン開催

かながわ地域日本語教育フォーラム

居場所としての日本語教室 ～コロナ禍で途切れた人との交流をつなぎ直す～



神奈川県では、多文化共生をめざし、地域日本語教育の取組を進めています。今回は「居場所としての日本語教室」について考えるフォーラムを開催します。教室運営に関わるスタッフ、ボランティア、学習者などそれぞれの立場からお話を伺います。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時

2022年9月23日(金・祝) 14:00～16:00

Zoomによるオンライン開催(視聴用ウェブページ入場可能時刻 13:30)

定員等

定員 **200名(無料)** ※要事前申込

申込者への視聴用ウェブページURLの連絡: 9月21日(水) (予定)



内 容

◆ 神奈川県の取組紹介(神奈川県国際課)

◆ 基調講演

「居場所としての日本語教室」 社会福祉法人さぽうと21学習支援室チーフコーディネーター 矢崎 理恵氏

◆ トークセッション

地域日本語教室における居場所に対する考えと実践、コロナ禍での取組や今後の活動などについてお話を伺います。

登壇者 矢崎 理恵氏 (社会福祉法人さぽうと21学習支援室チーフコーディネーター)

通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ

代表 林 静氏(中国出身) 事務局 金子 真澄氏 スタッフ 稲田 亜希氏(ベトナム出身)

NPO法人ふじみの国際交流センター

日本語教室代表 小林 暁美氏 スタッフ 塚本 秀樹氏

学習者 グエン チ ホアン コック氏(ベトナム出身)

進行 藤分 治紀氏 (公益財団法人かながわ国際交流財団/地域日本語教育総括コーディネーター)

申込方法

申込フォームよりお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongoforum/



申込締切

2022年9月16日(金)

お問合せ

公益財団法人かながわ国際交流財団 地域日本語教育フォーラム担当

メール: kifnihongo@kifjp.org TEL: 045-620-0011



オンライン
開催

かながわ地域日本語教育フォーラム

居場所としての日本語教室 ～コロナ禍で途切れた人との交流をつなぎ直す～



基調講演・トークセッション登壇者のご紹介

矢崎 理恵氏 社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター

大学卒業後、JICA青年海外協力隊日本語教師としてフィリピンに赴き、日本語教師としてのキャリアをスタートさせる。帰国後、主として日本語学校で予備教育の日本語教育に携わる。学生時代から、「国際協力」と「日本語教育」が関心をもつフィールドであったことから、2006年、社会福祉法人さぼうと21学習支援室のコーディネーターとして難民の自立支援の活動にかかわるようになる。多様な人々が集う、いわゆる「日本語教室」に無限の可能性を感じながら、日々「場」づくりに励む。現在、東京都つなぎ創生財団理事。



通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ

横浜市瀬谷区で子育て中の外国にルーツのある家庭を対象に、通訳・翻訳等でサポートしている。地域で子育てをしている外国人ママや外国人支援団体へのヒアリング調査を実施。同時に外国人ママの力を借りて2014年「多言語子育て情報サイトら・楽・La」を作成、公開。その延長線上で2016年「カムオン・シェシェ」を立ち上げた。2022年1月より子育て中の外国人ママを対象にした「おやこにほんごくらぶ」を月1回開催している。



NPO法人ふじみの国際交流センター

外国ルーツの人達が直面している困難に対応し、安心して生活できるよう支援している。日本語教室では日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援し、一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう一緒に学んでいる。国際子どもクラブでは子ども達が基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援している。また、ふじみの国際交流センターが日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となるために生活相談、国際交流、多言語情報などの事業も実施している。



ふじみの国際交流センター

主催



実施



令和4年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業活用